

第
2
部

岩手のくらし

第7章
歴史・文化

～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、
愛着や誇りを育んでいる岩手～

1 世界遺産・文化芸術

世界遺産登録件数は全国平均を上回る

■ 世界遺産を守り将来に伝えていくための取組等に対する満足は不満を上回る

令和5年（2023年）県の施策に関する県民意識調査によると、「世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること」について、重要（「重要」＋「やや重要」）と意識している人の割合は、県計で66.6%となっています（図1）。満足度については、満足（「満足」＋「やや満足」）と意識している人の割合は、県計で26.6%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の8.3%を上回っています（図2）。

また、「豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること」について、重要（「重要」＋「やや重要」）と意識している人の割合は、県計で69.8%となっています（図3）。満足度については、満足（「満足」＋「やや満足」）と意識している人の割合は、県計で24.3%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の11.5%を上回っています（図4）。

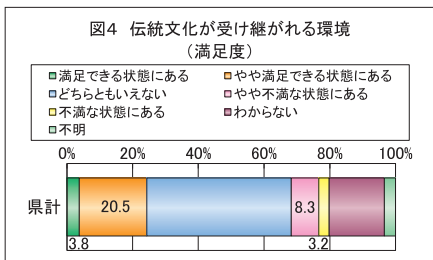
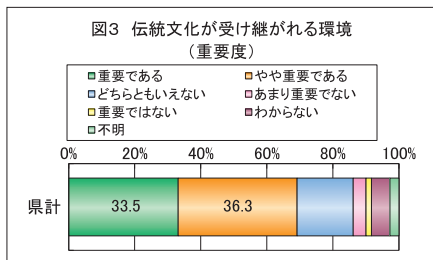
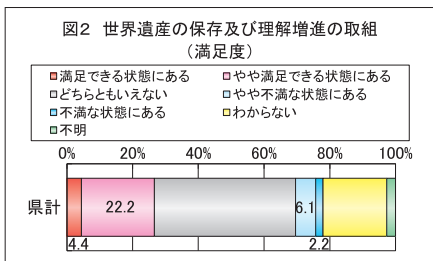
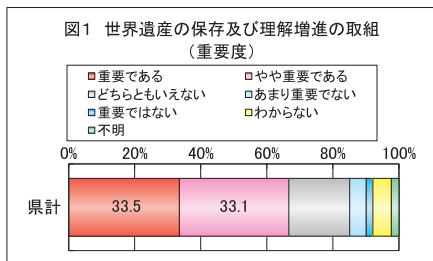
■ 世界遺産登録件数は全国平均を上回る

令和3年（2021年）7月現在の世界遺産登録件数をみると、本県は、平成23年（2011年）に登録された「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」、平成27年（2015年）に登録された釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」、令和3年に登録された一戸町の御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の3件の文化遺産を有しており、全国平均の0.9件を上回っています（図5）。

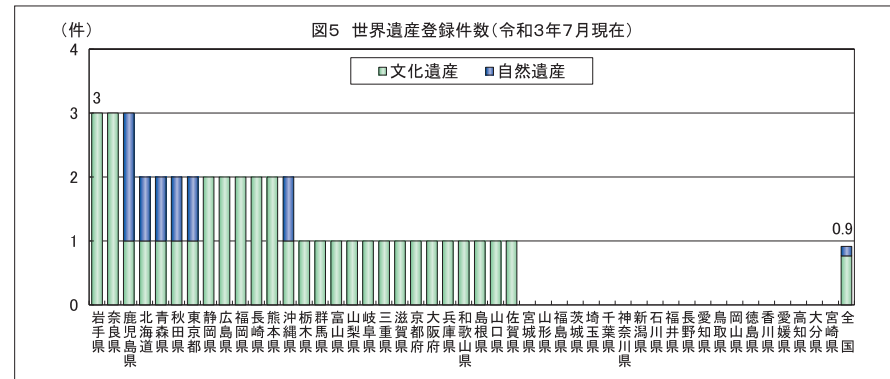
■ 民俗文化財指定件数は全国平均を上回る

令和6年（2024年）1月1日現在の国宝・重要文化財指定件数をみると、本県は81件（全国31位）で、全国平均（285.6件）を下回っていますが、東北6県平均（75.0件）を上回っています（図6）。

また、令和6年1月1日現在の民俗文化財指定件数（重要有形民俗文化財と重要無形民俗文化財の合計）をみると、本県は17件で全国6位となっており、全国平均（11.7件）を上回っています（図7）。

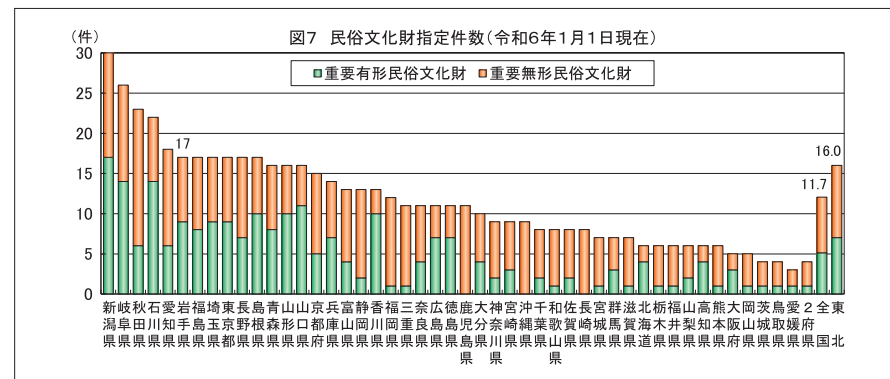
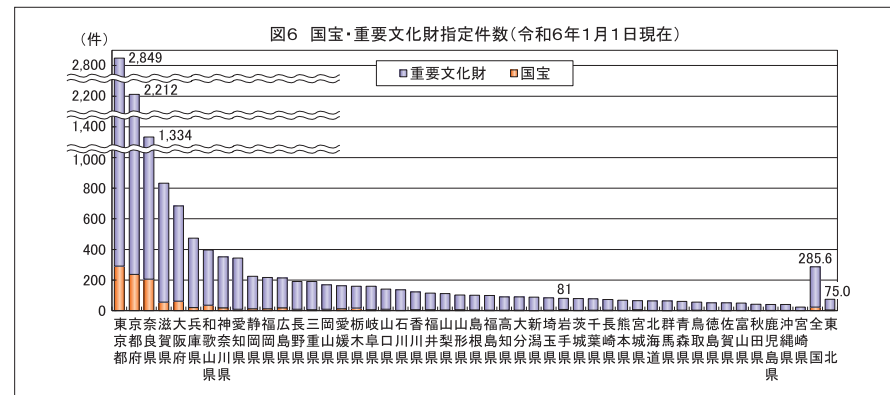


資料：県ふるさと振興部「令和5年県の施策に関する県民意識調査」



※ 複数の都道府県に係る世界遺産については、それぞれの都道府県において1件とカウント。

資料：文化庁



※ 2府県 重要有形民俗文化財…「生駒十三峠の十三塚」（奈良・大阪）
重要無形民俗文化財…「室根神社のマツリバ行事」（岩手・宮城）
重要無形民俗文化財…「豊前神楽」（福岡・大分）
重要無形民俗文化財…「因幡・但馬の麒麟獅子舞」（鳥取・兵庫）

以上資料：文化庁「文化財指定等の件数」